

経営比較分析表（令和4年度決算）

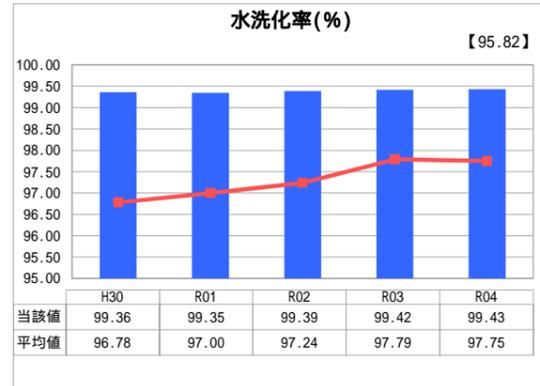
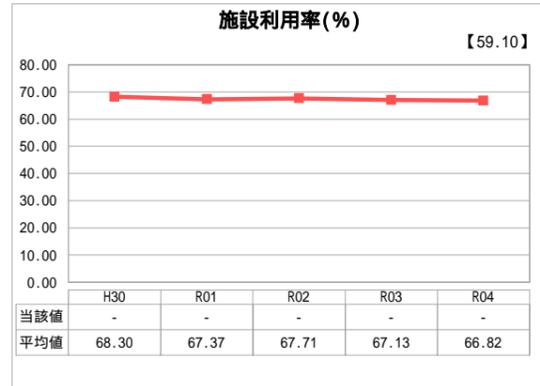
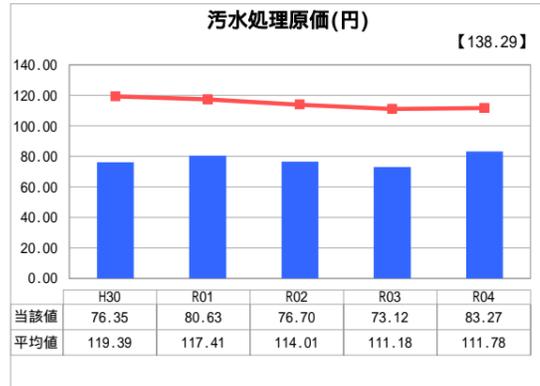
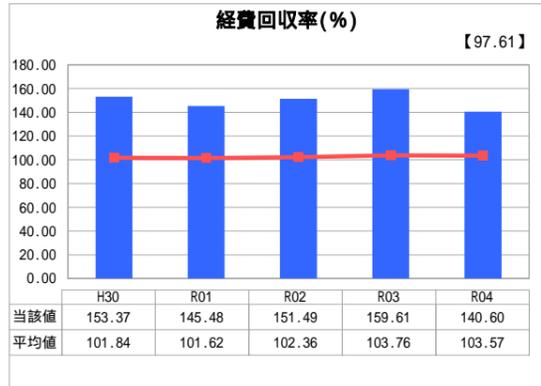
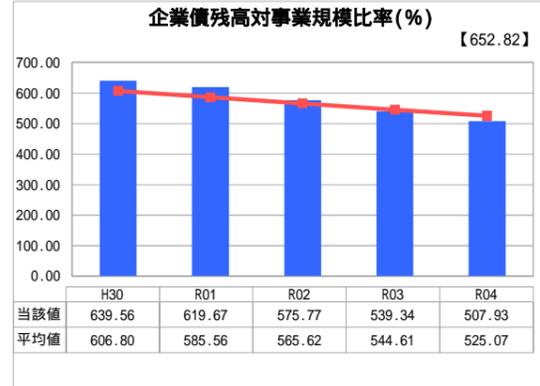
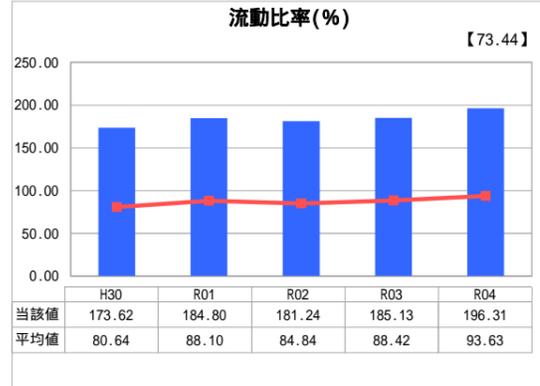
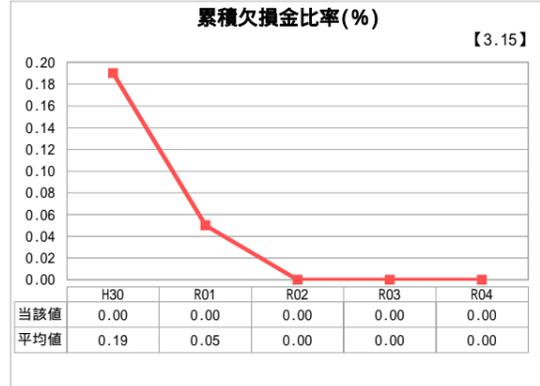
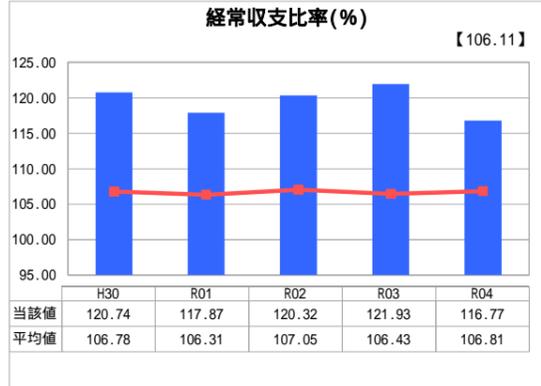
兵庫県 川西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ab	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.64	99.68	80.00	2,145

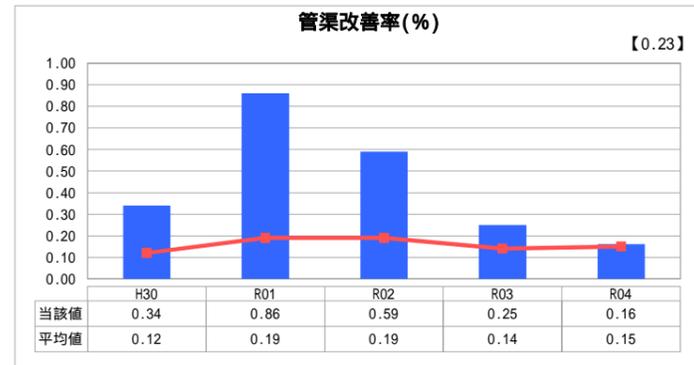
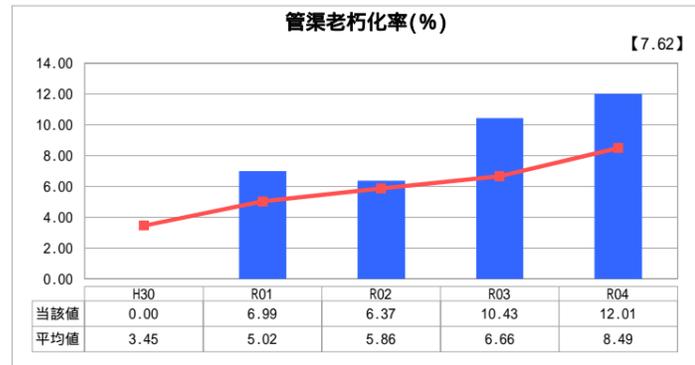
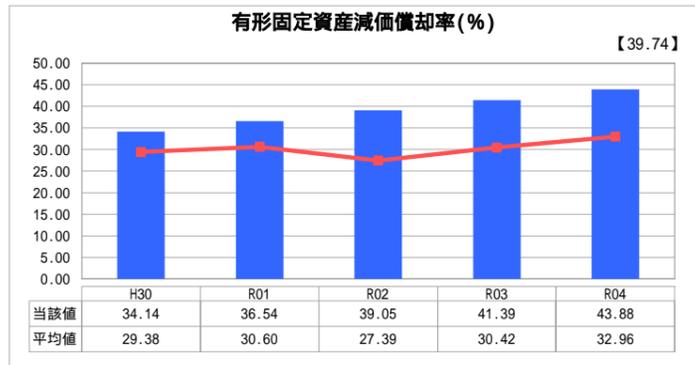
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
155,098	53.44	2,902.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
154,073	18.02	8,550.11

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

川西市は、広域的に運営している猪名川流域下水道事業に参画していることから、令和4年度の汚水処理原価は83.27円/n³を類似団体の平均値より28.51円/n³安く、経費回収率は140.60%と、全て使用料で回収すべき経費を賄っており、経常収支比率も116.77%で黒字経営であります。また、流動比率も196.31%と短期的な支払能力を確保できている状況となっています。

しかし、これまでの設備投資は、主に企業債、国庫補助金、市からの繰入金などの財源によって賄われてきたため、企業債残高対事業規模比率が507.93%と減少傾向ではあるものの高い数値であり、企業債残高を縮減していくことが課題となっています。

また、これまで管渠を整備した結果、令和4年度の水洗化率は99.43%となり、衛生的な生活環境の向上や公共用水域の水質保全に貢献しています。

2. 老朽化の状況について

現状の管渠老朽化率は12.01%ですが、今後においても、ストックマネジメント手法導入による施設管理を行い、全ての管路施設を対象としたリスク評価に基づく計画的な点検調査を実施し、改築・更新施設の機能維持に努めていきます。また、中長期的な将来予測により事業規模の平準化を図った上で改築・更新工事を進めていきます。

全体総括

これからも管渠の更生工事や施設の改築工事などを継続して行うために、財源としてはこれまでどおり国庫補助金や企業債などを活用していきます。また、利益剰余金の処分や減価積立金の取崩しを行い、企業債残高の減少を図っていくことで、健全な経営をめざしていきます。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。